

第37回 北信越国民体育大会 軟式野球競技 試合結果報告書

(試合日) 平成 28年 8月 27日 (土)

石川県野球協会

会場：長野県営野球場

【第2試合】 代表決定戦

球審		一塁		二塁		三塁	
----	--	----	--	----	--	----	--

試合開始時間 12時11分 ~ 14時12分

(試合時間) 2時間 01分

チーム名	県名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
コマニー株式会社	(石川)	2	1	0	0	0	0	0	1	2				6
チームながの	(長野)	0	0	0	0	0	0	0	1	0				1

先攻	(投手)	石田、太田					(捕手)	山岸				
	(本塁打)		(3塁打)			(2塁打)	安井2、山岸					
後攻	(投手)	丸山、金子					(捕手)	伊藤、麻場				
	(本塁打)		(3塁打)			(2塁打)						

【コメント】

石川（コマニー）、難敵長野を圧倒！ 本国体出場決める！

石川は初回、1死後、角が四球、山岸がサード内野安打で出塁し、ワイルドピッチで1死2・3塁のチャンスに4番・坂下がヒットエンドランを敢行。この打球がセンターに抜け先制の2点タイムリーとなった。3回にはショート内野安打で出塁した川下が二進後、ワイルドピッチでホームをつき1点追加、8回には先頭の安井がセンター右への二塁打で出塁、二死後、山岸のレフトオーバーのタイムリー2塁打を放ち追加点を挙げた。その裏に1点を許したが、すかさず9回表に荒屋が四球、加巳野がレフト前安打で続き、太田三振、多々見の三塁内野安打で1死満塁となり、このチャンスに安井がセンター右へこの日2本目となる2点タイムリー2塁打を放ち試合を決めた。

一方、投手陣は、北信越国体は初先発となる石田が快投を見せた。6回を投げ、90球、被安打1、与四死球2、奪三振5、無失点で打者21人、外野への打球はレフト前の1本のみであった。7回から引き継いだ太田は、打者12人に対して、1点は失ったものの、33級、被安打3、奪三振2、無四球で長野の反撃を許さなかった。